多機関共同研究用

兵庫医科大学・大阪府済生会泉尾病院　研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	大腿骨近位部骨折患者における回復期病棟入院時の健側下肢位相角と退院時歩行自立度との関連性
研究責任者氏名	玉木彰（兵庫医科大学リハビリテーション学部・教授）
研究機関長名	兵庫医科大学長　鈴木　敬一郎
研究期間	研究実施許可日　～　2029 年　3 月　31 日
研究の対象	以下に該当する患者さまを研究対象とします。 疾患名：大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折 診療科名等：大阪府済生会泉尾病院整形外科 受診日：西暦　2024 年　8 月　1 日～　研究実施許可日
研究に用いる試料・情報の種類	□試料等　☑カルテ情報　□アンケート　□その他（　　） 取得の方法：☑診療の過程で取得　□その他（　　）
研究目的・意義	本邦では高齢化の急速な進行に伴い、大腿骨近位部骨折の発生者数は増加傾向にあります。2025 年の国民生活基礎調査では、高齢者における介護が必要となった原因として要介護者では「骨折・転倒」は認知症に次ぎ 2 位の 14.8%を占めています。大腿骨近位部骨折のうち、頸部骨折と転子部骨折は主として高齢者の転倒による低エネルギー損傷の結果として生じることが多いとされています。大腿骨近位部骨折患者さまのうち受傷６か月後も受傷前の歩行能力まで回復できないことが多く、高齢者における退院時の歩行能力は生命予後と関連するとされており、手術後の歩行能力の回復が重要です。従来、手術後の歩行能力の回復に影響する因子として「年齢」「認知機能」「術前歩行能力」などが主要因子として挙げられてきました。近年では、位相角（生体電気インピーダンス法により測定される細胞の健康状態や筋質の代替指標）や筋質といった骨格筋の質的評価が退院時の身体機能転帰と関連すると報告されていますが、回復期リハビリテーション病棟入院時の健側下

	肢位相角と退院時の歩行の自立度との関連性は明らかとされていません。 本研究の目的は日常診療の中で得られたカルテ情報から大腿骨近位部骨折手術後に回復期リハビリテーション病棟に入院した患者さまの入院時健側下肢位相角と退院時の歩行自立度との関連性を明らかにすることであります。本研究の検証により、回復期リハビリテーション病棟入院時の健側下肢位相角と退院時の歩行自立度の関連性を明らかにすることで、入院早期から歩行能力の回復におけるリスクの層別化を行い、個別化リハビリテーションの強化や円滑な退院調整を行うための重要な資料になると考えます。
研究の方法	○研究方法：大腿骨近位部骨折術後に、2024 年 8 月 1 日～研究実施許可日までに大阪府済生会泉尾病院の回復期リハビリテーション病棟に入院し、入院中にリハビリテーションを施行された 65 歳以上の患者さまを対象として、下記の調査項目について統計解析を行い、入院時の健側下肢位相角と退院時の歩行自立度との関連性を検証します。 調査項目 ・患者背景因子：年齢、性別、既往歴、併存疾患、術前歩行能力（歩行補助具の使用可)、入院前居住先 ・周術期情報：骨折の種類（大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折)、手術様式（骨接合術、人工骨頭置換術)、手術待機期間(受傷から手術までの日数)、術後合併症、初回リハビリまでの期間（手術から初回リハビリまでの日数)、初回歩行までの期間（手術からリハビリでの初回歩行練習実施までの日数)、回復期病棟入院までの日数（受傷から回復期病棟入院までの日数） ・入院時情報：身長、体重、体格指数(BMI)、全身位相角、部位別位相角（左右上肢・下肢、体幹)、細胞外水分比（ECW/TBW)、骨格筋量、骨格筋指数(SMI)、下腿周径、握力、認知機能検査(MMSE)、移動・バランス能力(TUG)、日常生活機能的自立尺度(FIM)、アルブミン、 ・退院時情報：歩行機能分類(FAC)、TUG、FIM、歩行形態（補助具の使用の有無） ・その他：回復期病棟在院日数、退院後居住先
外部への試料・情報の提供	大阪府済生会泉尾病院で収集されたデータは、個人を特定する情報を削除し、加工されたデータファイルにパスワードをかけたうえで、兵庫医科大学の研究代表者に大学アカウントで管理されたクラウド上（Google ドライブ）で共有します。兵庫医科大学から外部への試料・情報の提供はありません。
研究組織	代表機関： 兵庫医科大学 リハビリテーション学部・教授・玉木彰(研究代表者) 兵庫医科大学 リハビリテーション学部・大学院生・中村征司(実務責任者) 共同研究機関 大阪府済生会泉尾病院 リハビリテーション部 中村征司(研究責任者)
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表や他の研

	究機関との共同研究に診療情報を使用させて頂く際にも、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	氏名：中村征司 〒551-0032　大阪府大阪市大正区北村 3 丁目 4 番 5 号　大阪府済生会泉尾病院 電話番号：06-6552-0091 （対応時間：平日9:00-17:00　対応診療科：リハビリテーション部） 所属：大阪府済生会泉尾病院 リハビリテーション部 回復期課 研究責任者 兵庫医科大学 リハビリテーション学部 大学院生・実務責任者